

5/13 朝旅

高齢者の生命線が危ない

今言わなければ

安倍政権

福祉用具は要介護1、
2の人の生命線じゃない
ですか。ベッドがあるか
ない自宅で生活できる。月
1万円以上するレンタル

せ後から保険給付分を
払い戻すといいますが、
給付は今の割よりずっと
下がられるでしょう。

ベッド代を、まず全額払
いなさいなんて言った
は賃素でもわが家の味

です。一度に3食分ぐら

い計画している介護保険
の改悪は、「生活の基礎
体力」ともいえるサービス
を取り上げる高齢者い
じめです。

財務省は要介護1、2
の人のホームヘルパーに
よる生活援助や、要支援
1から要介護2のベッド
など福祉用具レンタルを
「原則自己負担」にする
といいます。金額を払わ

ノンフィクション作家

沖藤 典子さん



おきふじ・のりこ 1938年生まれ。高齢社会をよくする女性の会副理事長。元厚生労働省社会保障審議会委員。『老妻だって介護はつらいよ』など著書多数。

生活援助の効果

私はホームヘルパーに

い作って冷凍するなど短
時間でも工夫していま
す。

共産党の強みを

い作って冷凍するなど短
時間でも工夫していま
見はできません。

もうひとつが人との接
触です。ヘルパーが来て
外の風を運んでくる、会
話して気持ちがまぎれ精
神的に活発になる。この

三つをしっかりと守ること
だけ健康を守るか。そし
てバランスのとれた食
事。ヘルパーが作る食事
は質素でもわが家の味
で、病気がちだった人が
みるみる元気になってく
る、認知症が消える。
劇的な変化が起きている
んです。ヘルパーの生活
援助は、状態悪化を防
ぐ、とりでです。

政府は、生活援助の代
わりに家政婦業や配食な
ど民間サービスを広げた
いようですが、そこには
専門的な観察眼も記録も
ない。病気や認知症の発
生を防ぐことは、共産党の強み。い
まこそ頑張ってほしいと思
っています。

社会保障と平和を守る
ことは共産党の強み。い
まこそ頑張ってほしいと思
っています。

聞き手 内藤真弓子
写 真 水鳥 陽平